

# MAZDA ROADSTER (ND5RC)

## REAR WING SPOILER 取付説明書

この度はデータシステム「illusion」製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、必ず本書をよくお読みになり、正しい方法で使用してください。  
ご不明な点、またはご質問やご相談は、弊社倉敷支社 品質保証部までご連絡ください。

### ご注意 必ずお読みください

- 本製品はマツダロードスター (ND5RC H27.5 ~)専用のリアウイングです。他の車両には装着できません。
- 本製品を塗装する前に必ず製品チェックをおこなってください。塗装後のクレームは一切お受けできません。
- 下記条件が原因で発生した破損や故障・事故や損害等について、当社は一切の責任を負いません。  
・本製品の加工・不適切な装着状態・適合車両以外の車両に取り付け・本製品の誤った使用方法
- 本製品は確実に取り付けてください。また、絶対に脱落しないことを確認してください。取り付けが不完全な場合、走行中に脱落し、ご自身・第三者に致命的な損害を与えるおそれがあります。
- 本製品および付属品は、改良のために予告なく仕様を変更する場合があります。

**⚠注意** トランク開閉時は絶対にウイングに触れないでください。また、トランクリッドを閉める際はゆっくりと下げてトランクリッドを押し付けてロックするようにしてください。以上の事を守らないと、ウイングの破損やトランクリッドが歪むなどの致命的な損害が発生する恐れがあります。

### 注意事項の定義について

注意事項は「**⚠危険**」、「**⚠注意**」、「**⚠警告**」、「**⚠重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

<b>⚠危険</b>	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの	<b>⚠注意</b>	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
<b>⚠警告</b>	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの	<b>⚠重要</b>	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

### 内容物一覧

- リアウイング×1
- 型紙左側×1
- 脱脂クリーナー×2
- ワッシャー×4
- リッドカバー×1
- 型紙右側×1
- 丸シール×9
- オスギボシ&スリーブ×4
- 両面テープ
- 緑線(1m)×1
- 結束バンド×2
- メスギボシ&スリーブ×4
- ブチルテープ
- 白線(1m)×1
- ボルト×4
- コルゲートチューブ×1

[カメラ内蔵タイプのみ]

- カメラ(ケーブル長4m)×1
- 電源ハーネス(3m)×1
- ピン端子ケーブル(6m)×1
- コードクリップ×4
- エレクトロタップ×2
- 保証書/ユーザー登録カード×1

### ご用意頂くもの

- シリコンオフ(脱脂用)
- 24φホールソー
- 2~3mm/8mmドリルビット
- ドリル
- 8mmディープソケット
- 一般工具

#### ご相談窓口

**☎ お電話 086-486-0442**  
(技術的なお問い合わせ・修理受付)  
【受付時間】  
月曜日~金曜日 10:00~12:00  
13:00~17:30  
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

**💻 メールでのお問い合わせ(PC)**  
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

**📱 メールでのお問い合わせ(スマートフォン)**  
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



**Data System 株式会社 データシステム**

<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本取扱説明書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転写・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

ROADSTER-REARW-1612-AKN

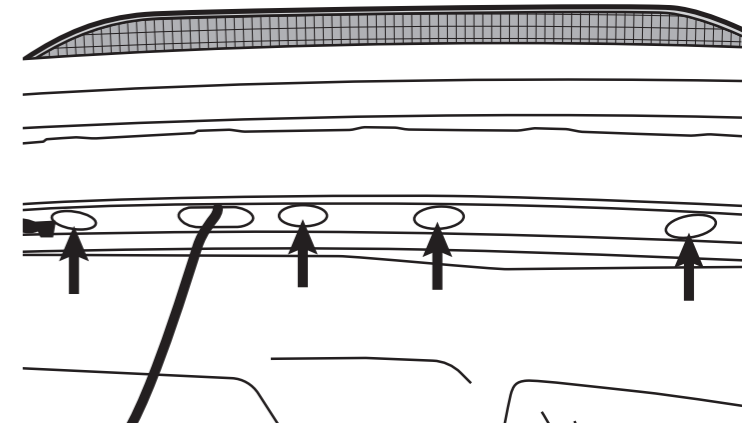
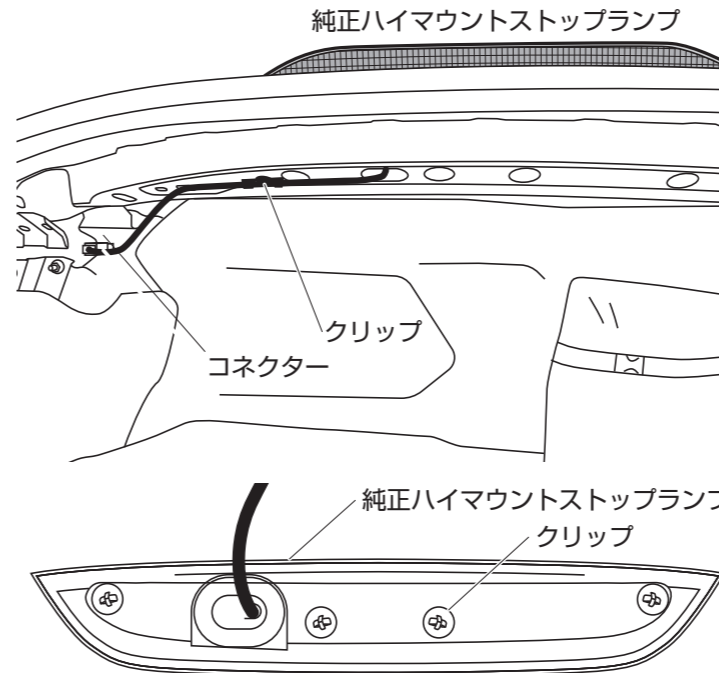
### 取付方法

#### 車両側の処理

##### 1. 純正ハイマウントストップランプを、上方に持ち上げて取り外す

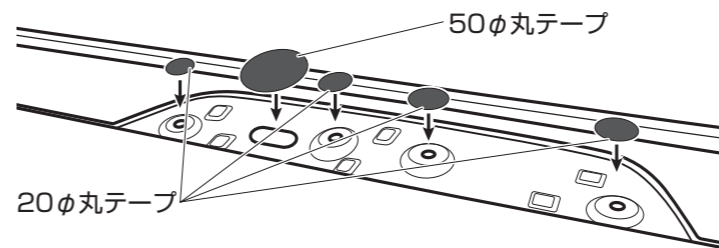
図を参考に純正ハイマウントストップランプのコネクターを切り離し、クリップからハーネスを取り外してください。

トランク内から純正ハイマウントストップランプを固定しているクリップ(4カ所)に8mmディープソケットを差し込むと、クリップを破損させずに取り外せる可能性があります。



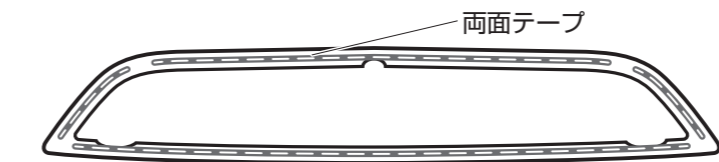
取り外した純正ハイマウントストップランプおよびクリップ4個は再使用します。但しクリップに付いているガスケットは全て取り除いてください。

##### 2. 純正ハイマウントストップランプ装着位置(車両側)全体を、シリコンオフや同梱の脱脂クリーナーで汚れや油分などを十分に除去し、十分に乾いてから小さな穴4カ所を同梱の20φ丸テープで、楕円穴1ヶ所を50φ丸テープでふさぐ

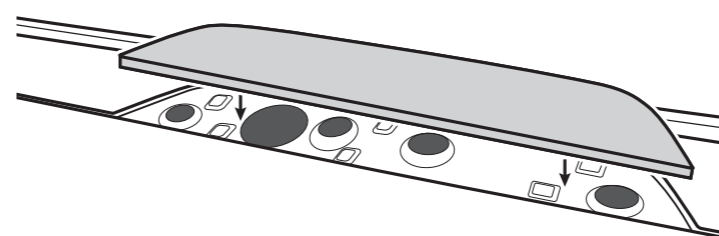


**⚠重要** ●車内に水が入り込まないように完全にふさいでください。

##### 3. 同梱のリッドカバーの裏側を、シリコンオフや同梱の脱脂クリーナーで汚れや油分などを十分に除去し、下図の位置に両面テープを貼る



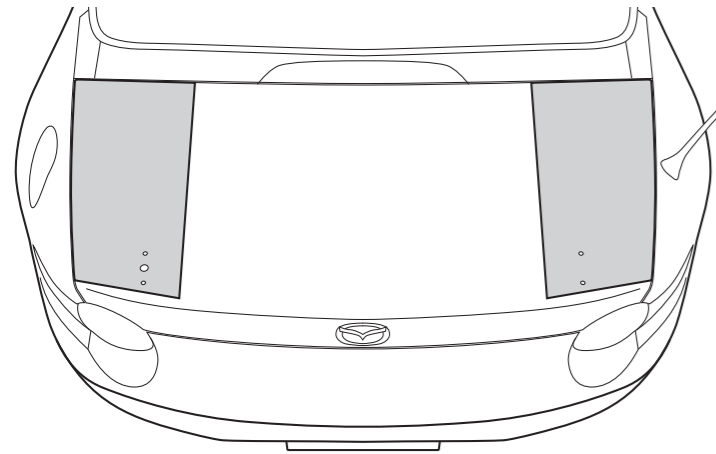
##### 4. 純正ハイマウントストップランプ装着位置(車両側)にリッドカバーを貼り付ける



## 取付方法

車両側の処理の続き

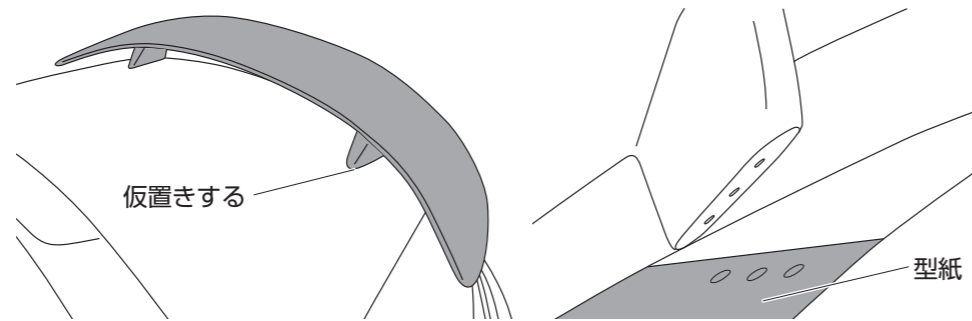
5. 同梱の型紙を、図に従いトランクリッド左右それぞれに貼る



**重要** ●すれないようしっかりと貼り付けてください。

6. リアウイングをトランクリッドに仮置きし、リアウイング脚部ボルト穴とトランクリッド穴開け位置が一致することを確認する

**重要** ●必ずおこなってください。

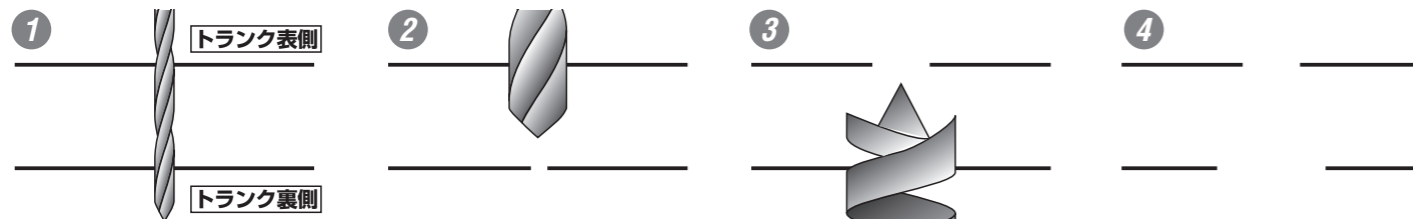
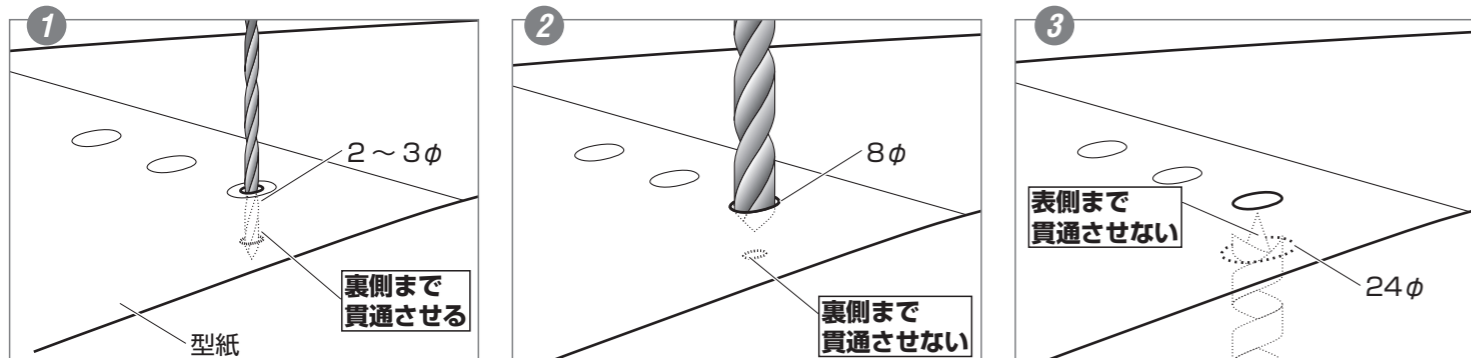


7. 型紙で指定された位置に、下記の手順で穴を開ける

**注意** 24φの穴はトランクリッド裏面側のみ(計4ヶ所)です。誤って貫通させないようにしてください。

- 1 型紙で指定された8φ穴開け位置の中心を目安に2~3φのドリルビットを使用してトランクリッド表側から穴を開け、そのまま真っ直ぐトランクリッド裏側にも同じ穴を開ける
- 2 型紙で指定された8φ穴開け位置を目安に、トランクリッド表側に8φの穴を開ける(助手席側3運転席側2計5ヶ所)
- 3 上記で開けたトランクリッド裏側の穴を中心にして、トランクリッド裏側の指定した4ヶ所のみ24φの穴を開ける
- 4 開けた穴全てのバリ取り・防食処理及び切り粉の除去をおこなう

※下図は助手席側です。運転席側に開ける穴は2ヶ所ですのでご注意ください。



2~3φドリルでトランクリッド裏側まで貫通させる

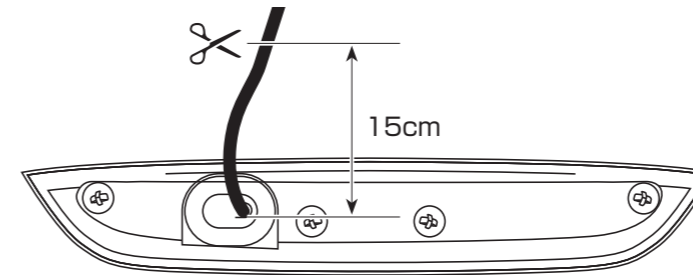
8φ穴(5ヶ所)トランクリッド表側のみ開ける

24φ穴(4ヶ所)はトランクリッド裏側のみ開ける

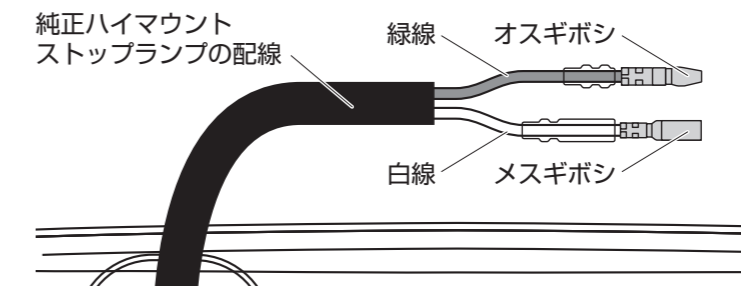
開けた穴のバリ取り・防食処理および切り粉の除去

## 純正ハイマウントストップランプの配線加工

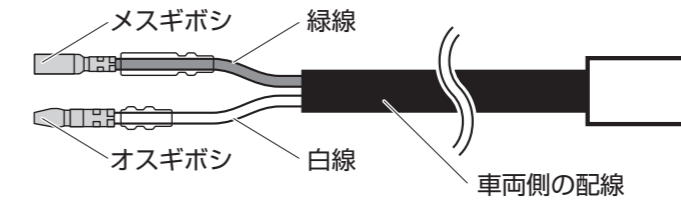
1. 純正ハイマウントストップランプから出ている配線を、根元から約15cm残して切断する



2. 純正ハイマウントストップランプ側に残った緑線の先端にオスギボシとスリーブを、白線の先端にメスギボシとスリーブを取り付ける

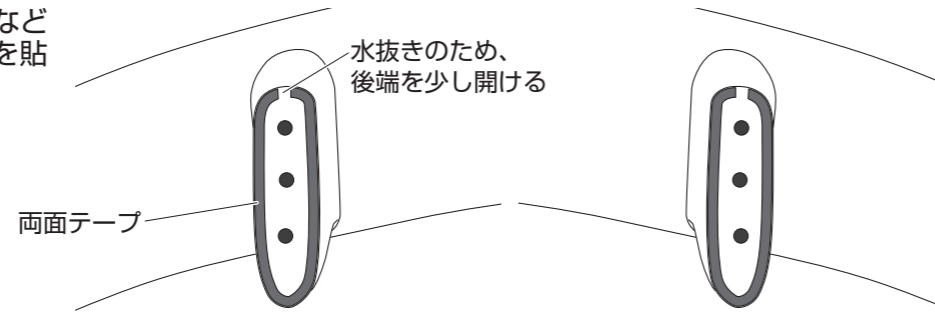


3. 切断した車両側のコネクター付き配線の緑線先端にメスギボシとスリーブを、白線先端にオスギボシとスリーブを取り付ける

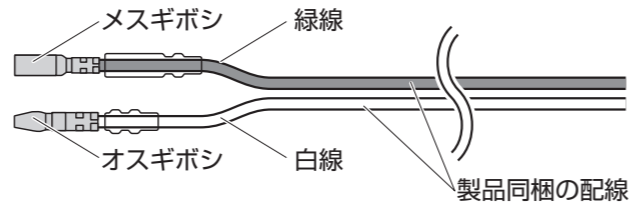


## リアウイングの処理

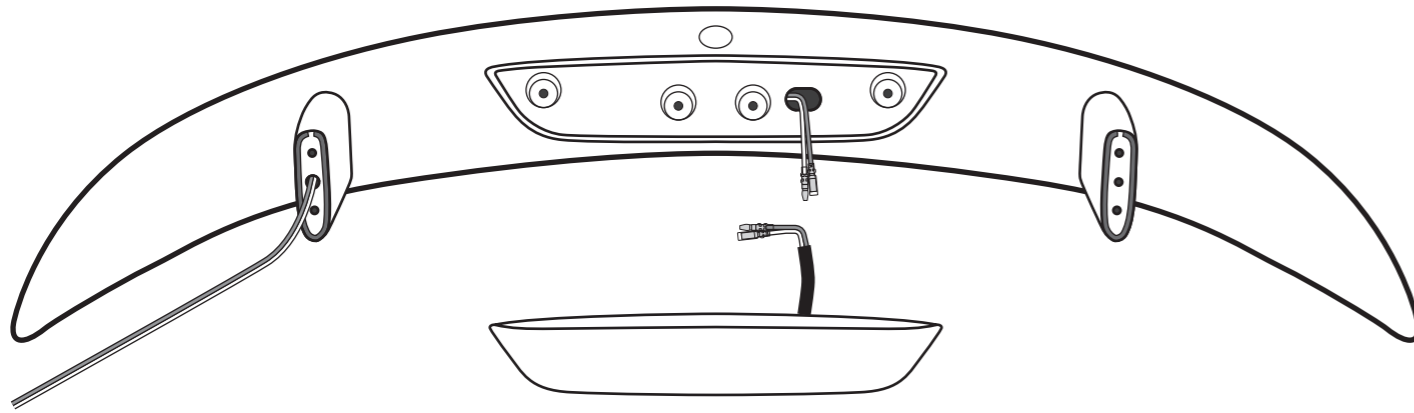
1. リアウイング脚部底面をシリコンオフなどで脱脂し、図に従い同梱の両面テープを貼り付ける



2. 同梱の緑線の片側にメスギボシとスリーブを、同梱の白線の片側にオスギボシとスリーブを取り付ける



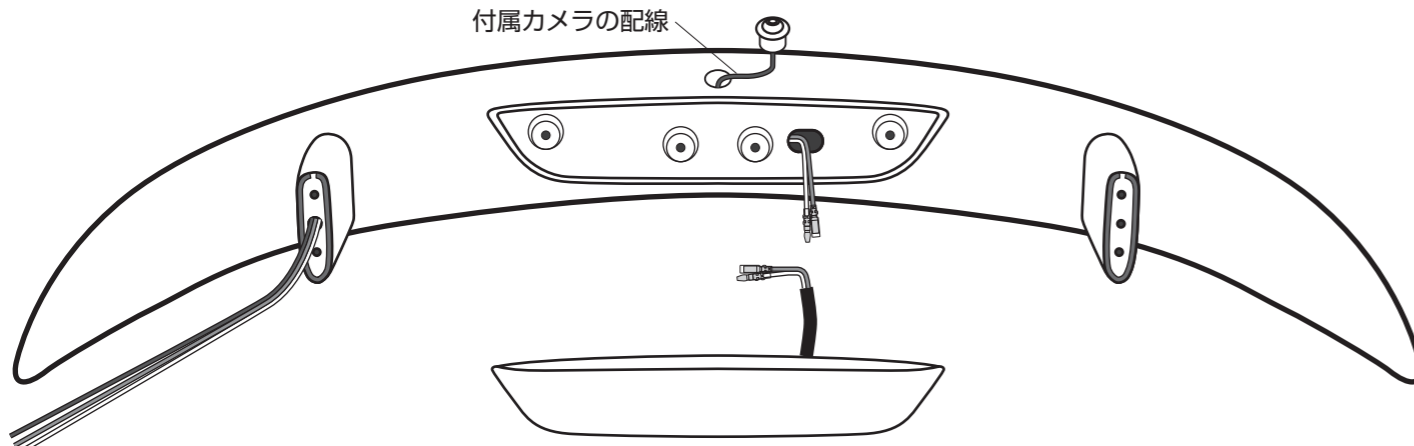
3. 図に従い同梱の配線2本をリアウイング内に通す



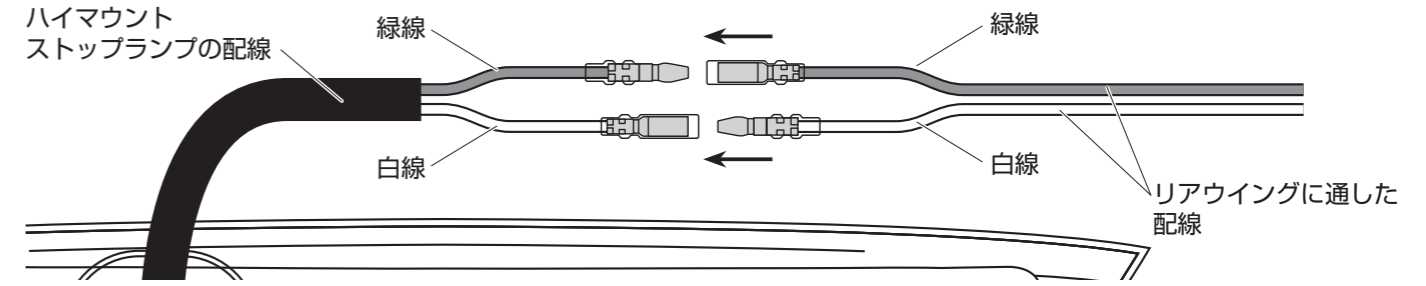
### カメラセットのみ

純正ハイマウントストップランプの配線と同様に、カメラケーブルをリアウイング内に通す

- ⚠ 注意 カメラはまだリアウイングにはめ込まないでください。

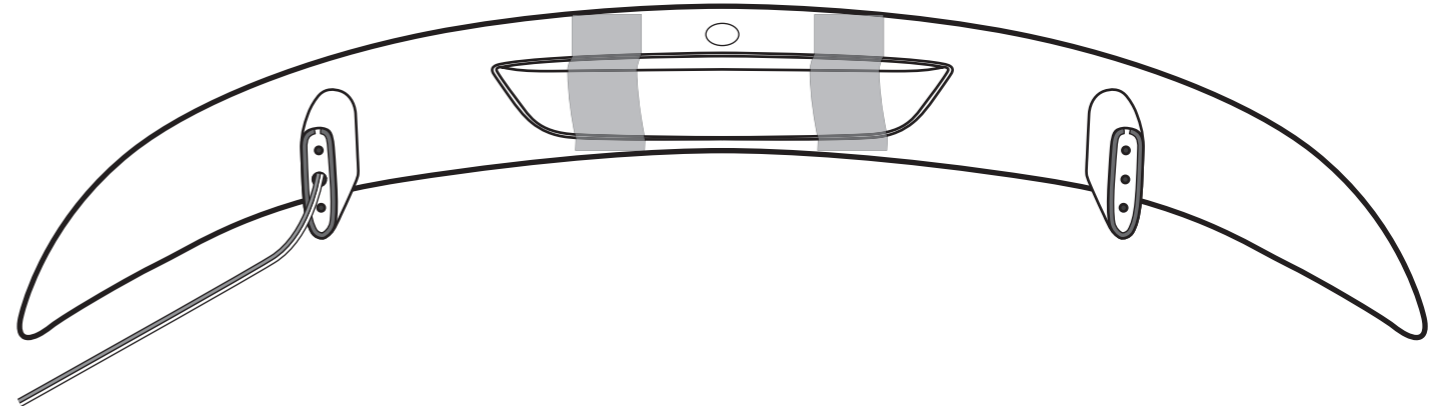


4. 純正ハイマウントストップランプから出ている緑線および白線と、リアウイングに通した緑線および白線をそれぞれ接続する



5. 配線が確実に接続されていることを確認したら、リアウイングに純正ハイマウントストップランプを養生テープなどで仮付けする

⚠ 注意 純正ハイマウントストップランプは一度リアウイングに取り付けると外せなくなりますので(無理に外そうとするとリアウイングが破損する可能性大)、最終処理時に正常に点灯することを確認するまで固定しないでください。



## 取付方法

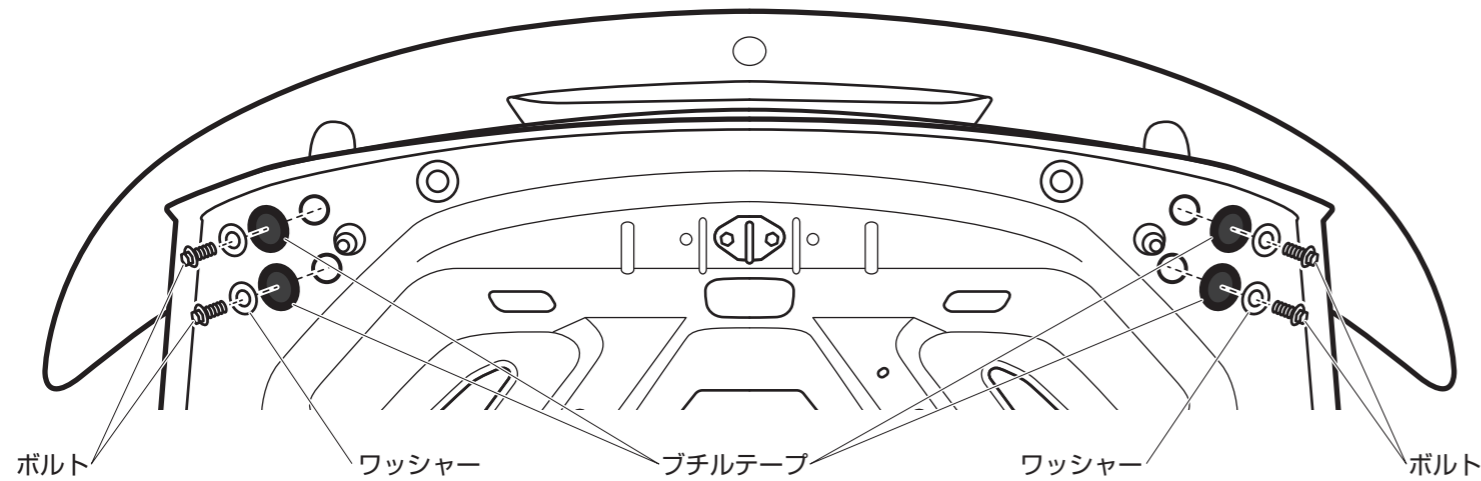
### リアウイングの装着 (3名で作業をおこなってください)

1. リアウイングから出ている配線(緑線と白線)及びカメラケーブル(カメラセットのみ)を8φに開けた穴からトランク内側に通す

**重要** ●配線及びハーネスがリアウイング脚部とトランクリッドとの間に噛み込まれないよう十分にご注意ください。

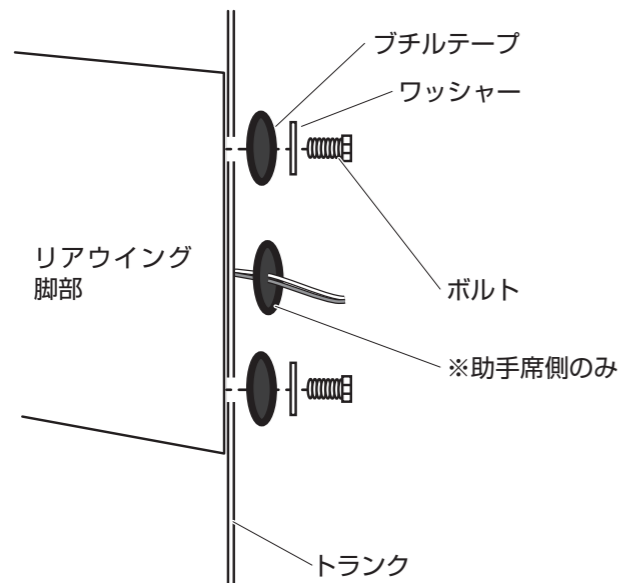
助手席側の中央の穴に通す

2. リアウイングを同梱のボルトで固定する



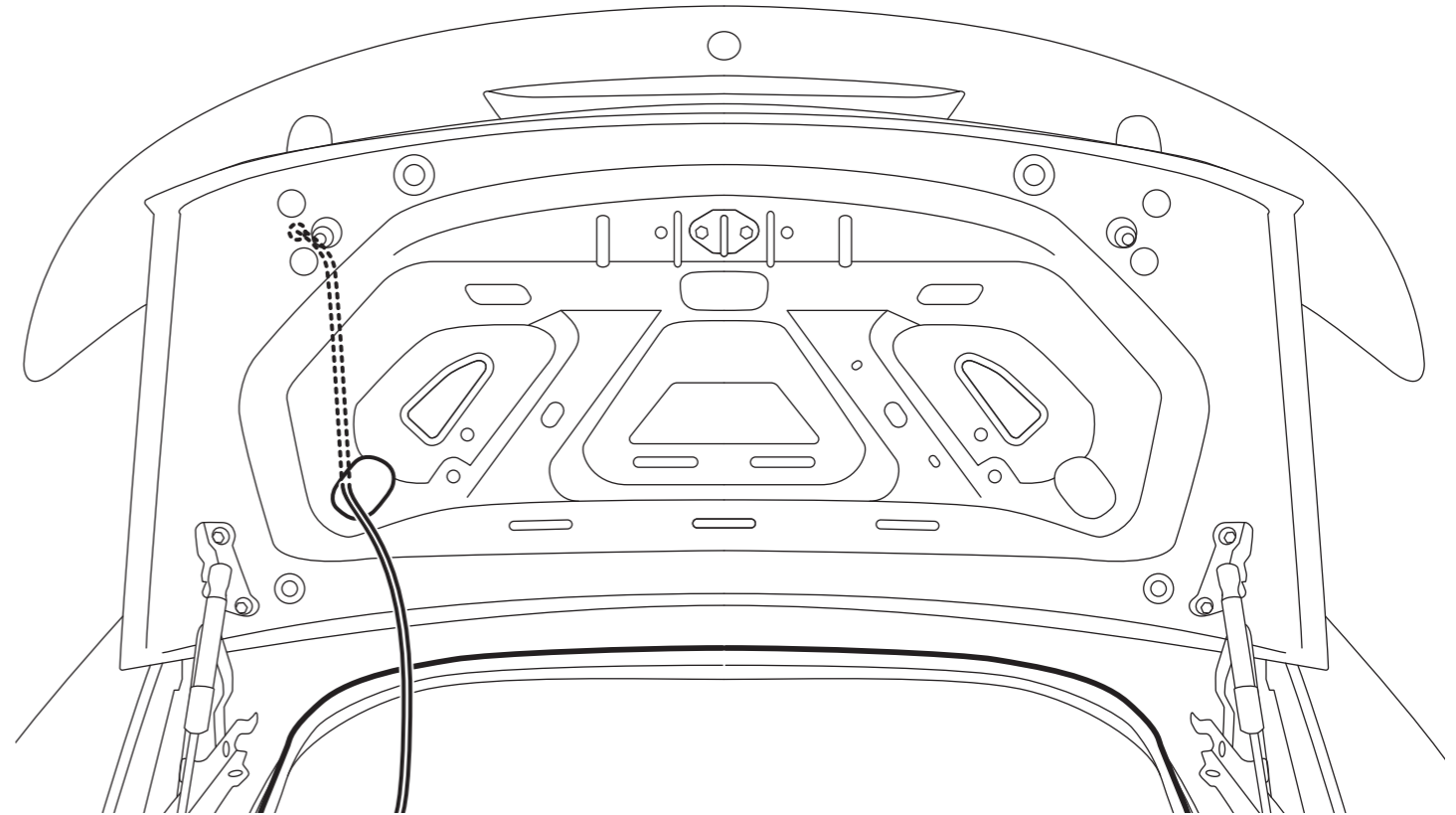
**注意** ●絶対に締めすぎないでください。  
●必ずウイング左右それぞれを支える方とボルトを締め込む方の計3名で作業をおこなってください。

ワッシャーとトランクリッドとの間に同梱のブチルテープを挟み込み、トランク内への水の浸入を防いでください。

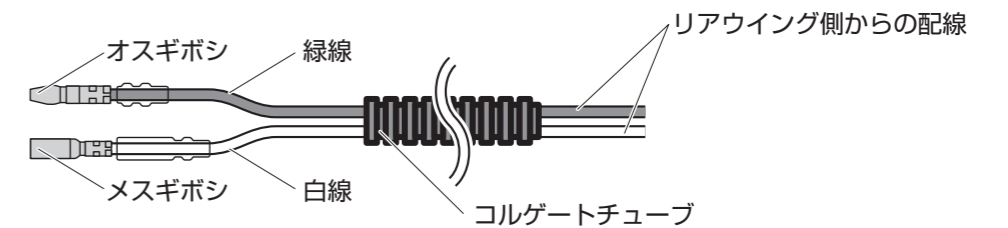


### 最終処理

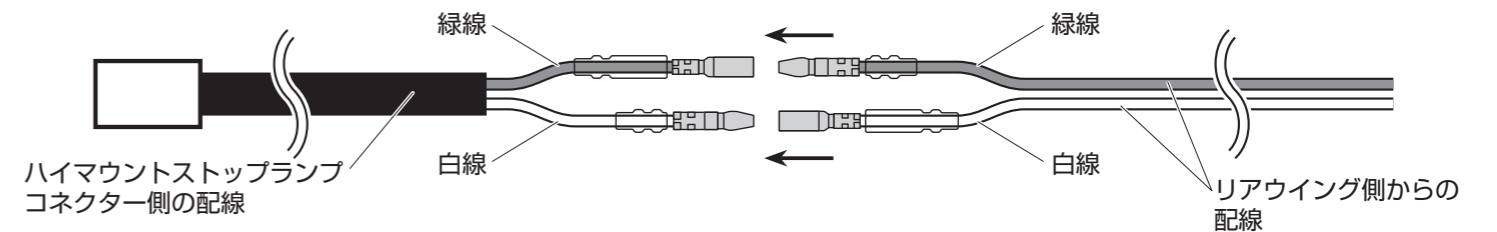
1. 同梱の配線2本とカメラケーブル(カメラセットのみ)を、トランクリッド内側の図で示した位置に通す



2. 緑線の先端にオスギボシとスリーブを、白線の先端にメスギボシとスリーブを取り付ける



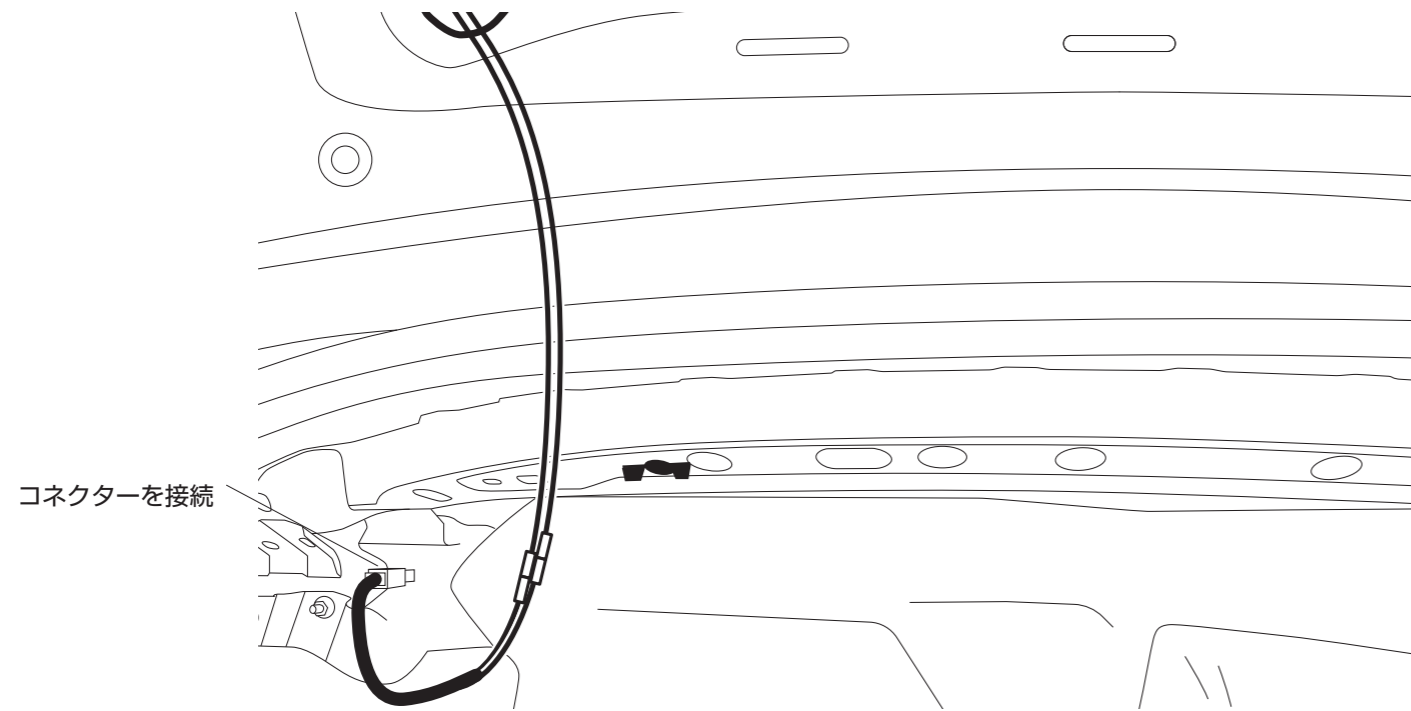
3. 切断したコネクタ付き配線を緑線/白線それぞれに接続する



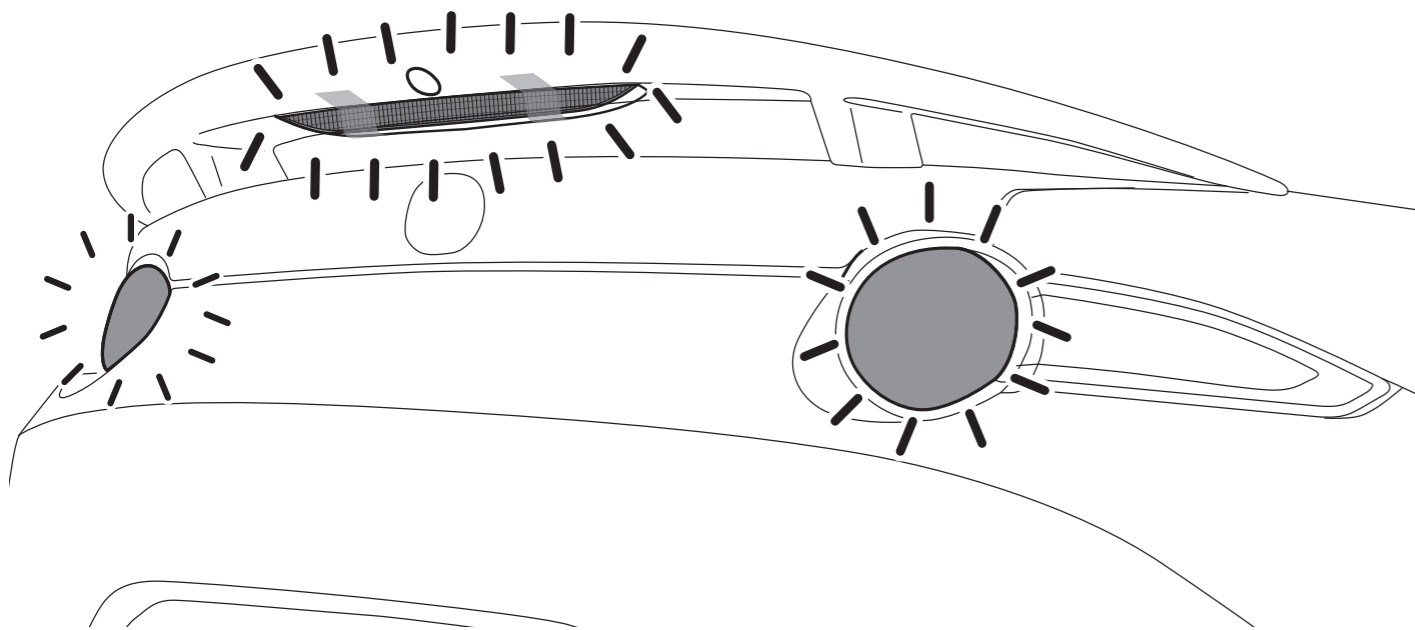
## 取付方法

最終処理の続き

4. ハイマウントストップランプのコネクターを車両側に接続する



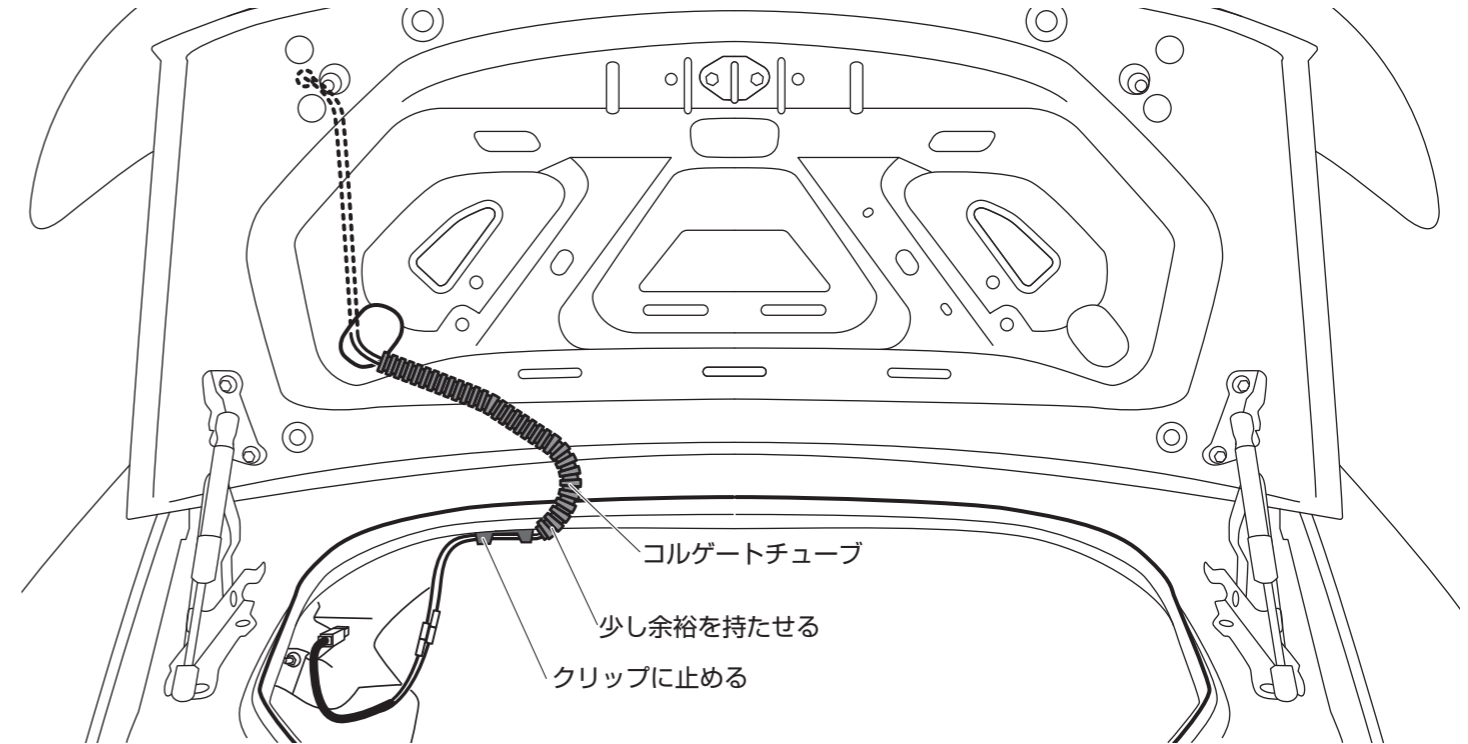
5. ブレーキを踏み込み、純正ハイマウントストップランプが正常に点灯することを確認する  
点灯しない場合は配線の接続状態をご確認ください。



6. 純正ハイマウントストップランプをリアウイングにはめ込む

⚠重要 ●配線がリアウイングに噛み込まれないよう十分ご注意ください。

7. 図に従い配線とカメラケーブル(カメラセットのみ)の処理をおこなう



8. リアウイングが確実に固定されていることを確認する

9. トランクリッド裏側の開けた穴4カ所を同梱の丸シール(40φ)で塞ぐ

⚠重要 ●トランクに水が入り込まないよう、確実に塞いでください。

# カメラについて[カメラ内蔵タイプのみ]

## 取り付け上の注意

**電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。**

- △製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱い業者でおこなってください。
- △取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
- △車両側及び本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。
- △本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。
- △電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり車両側の故障の原因となります。
- ①付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。
- ①電源ハーネスのアース線は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください。アース不良が原因で、本製品が正常に動作しない場合があります。
- △シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。
- △本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。
- △配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。

## メンテナンスについて

- △カメラは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形等の原因となります。
- △レンズは定期的にはまたは汚れていたらきれいに拭いてください。但し、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

## 保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。  
 ※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

## 使用上の注意

- ①運転者が走行中に画像表示装置(テレビ画面など)を注視することは、道路交通法で禁じられています(道交法第71条)。
- △カメラ映像はドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用時は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- ①カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。
- ①カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するため発生する症状ですので、故障ではありません。
- △自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。
- △本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

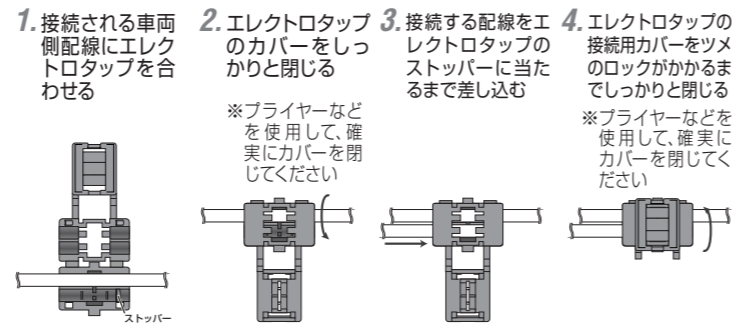
## 保証について

- 付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります(保証対象はカメラのみ。ウイング本体および付属品は保証対象外です)。  
 ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。  
 ※保証規定は保証書を参照してください。  
 ※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。

## エレクトロタップの使い方

- 接続後、テスターを使用して確実に接続されているか確認してください。
- 接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。



## 保証について

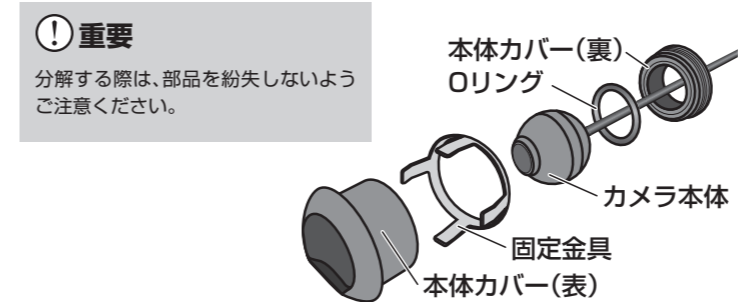
- 付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
- 配線を通す際にカメラケーブルを切断した場合、配線の再接続不良による故障は一切保証致しません。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります(保証対象はカメラのみ。ウイング本体および付属品は保証対象外です)。  
 ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。  
 ※保証規定は保証書を参照してください。  
 ※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。

## カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押しつけて固定する構造になっています。本体カバーの締め具合でカメラ本体の動きを加減できます。

●Oリングにグリスを塗布すると、カメラ本体がスムーズに動きます。



## 赤線/黒線の接続について

赤線は【バックアップランプのプラス線(12V線)】または【ACC電源線】に接続します。

黒線は【バックアップランプのマイナス線(アース線)】、またはボディアースに接続します。

※ボディアースに接続する場合は、塗装されていない金属部分に、車両のボルトを利用して取り付けてください。

## 仕様

映像素子	1/4インチ スーパー CMOS	有効画素数	32万画素
水平解像度	450TV本	映像信号	NTSC
水平画角	110°	垂直画角	80°
電源	DC9~15V	消費電流	約40mA
動作可能温度	-20℃~+65℃	ヒューズ	1A
重量	約20g(固定金具含む/ケーブル除く)		
出力タイプ	正像/鏡像映像(ガイドライン表示なし)		

## 角度調整について

1. カメラ本体の動きを確認、調整する

カメラ本体が適度な手の力で動くか確認します。

●カメラ本体を軽く押すと、動きやすくなります。



2. 動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整する



## 接続方法

